

客観的な指標の算出方法

【採点基準】

- (1) 採点は、60～100を合格とし、それ以下を不可とする。
- (2) 配点区分は次による。

採点	評価	
100～95	AA	合格
94～80	A	
79～70	B	
69～60	C	
59～0	D	不可
保留	-	仮処置

(3) 採点保留(仮処置)による扱い

- ※ 学科において採点の結果、点数が59点以下の場合、不可となり原則として次年度以降において再履修となる。
- ※ 授業を担当する講師による採点が保留となった場合は、追課題(レポート含む)が課せられる。追課題の採点は専任の判断に委ねられ、成績会議によって認定される。
- ※ 修得単位数が1年次、2年次それぞれで15単位以下、または1・2年次を通じて合計32単位以下は留年となる。

【学科再履修】

採点の結果、不可となった者は次年度以降において原則としてその学科目を再履修しなければならない。ただし、在籍学年の履修を優先とするため、履修科目の変更、または再履修年度の変更についての決定は学校の指示に従うこととする。

【仮進級】

本課程は前期授業と後期授業において学科・実技の履修状況の確認を学期末に学生・保護者に郵送する。単位不足のある学生は学校の指示に従い、不足分の単位修得を行わなければならない。

なお、成績評価方法についてはホームページで公開している他、入学時、進級時の新年度ガイダンスにおいて、全学生に通知している。